

# 継

継承・継続・中継・後継  
Kei

日経印刷 CSR アクティブレポート 2016.Jan

Vol.2

安定品質の継続が  
信頼と未来への扉を開く。

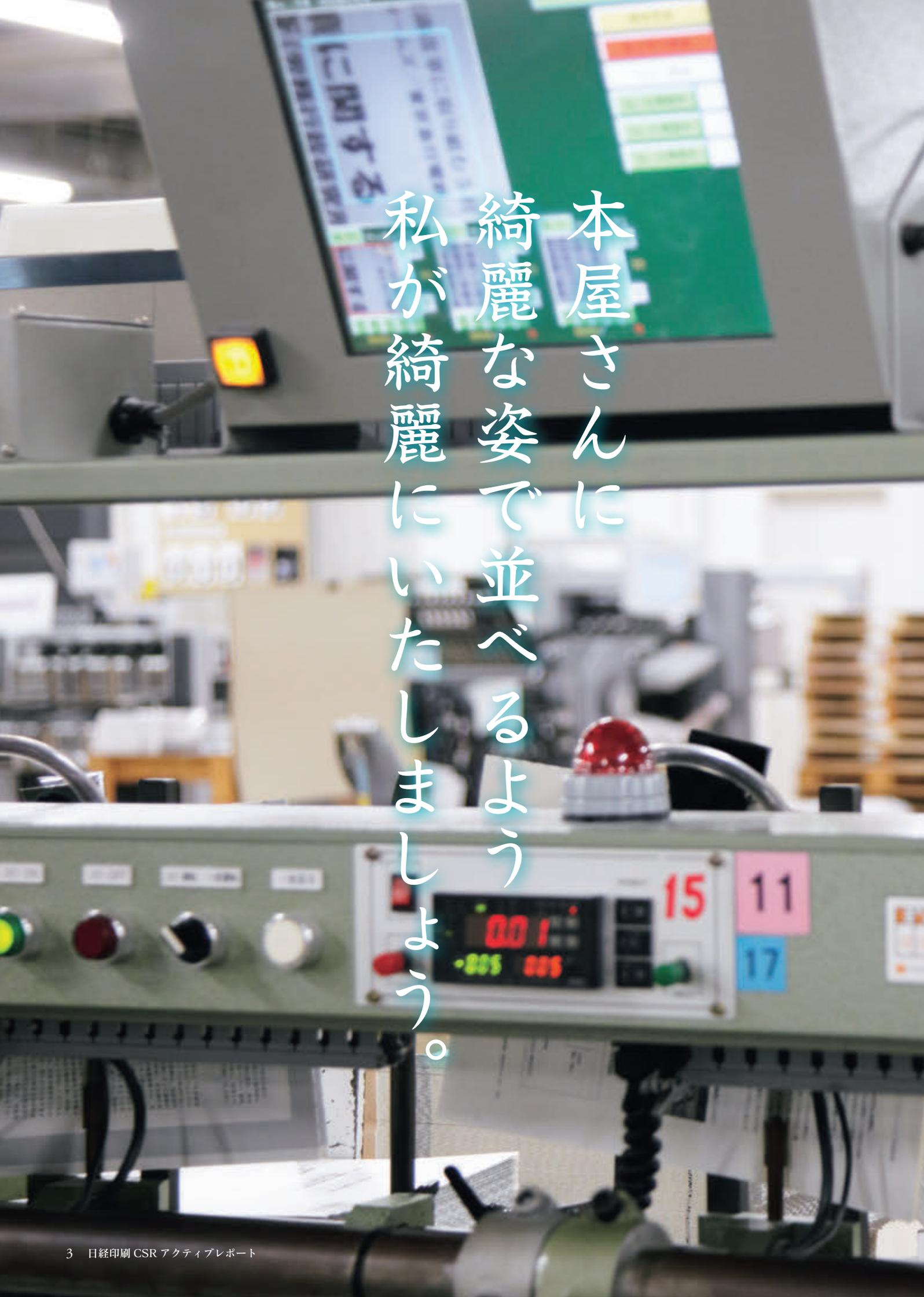


# 継

Kei

Vol.2

継承・継続・中継・後継



本屋さんに  
綺麗な姿で並べるよう  
私が綺麗にいたしましょう。



現代日本の手漉き紙は  
全世界の紙工業を通じて  
まさに技術上の奇跡である

紙史研究の大家 ダード・ハンター著「和紙のすばらしさ」より

# 紙の未来は もっともっとと ひろがる

「世界の紙の伝播マップ」を著した紙史研究の大家、ダード・ハンターは、その著書『和紙のすばらしさ』において、驚きとともに和紙を右頁のように表現している。

和紙の品質。それをささえる工業技術。そして生活の隅々にまで入り込んだ文化との融合性も、その評価の対象であったはずだ。彼の言葉が、70年以上の時を経て、まるで予言であったかのようになり、今、和紙は様々な奇跡を起こそうとしている。

洗濯のできない宇宙船内での長期着用には不可欠となる、抗菌・消臭性という

和紙の特性を利用した宇宙服。和紙のもつハリとしなやかさで、従来と比べ高音から低音域までクリアで広がりのあるサウンドを実現したスピーカー。さらに電気を通さず、薄くて丈夫な和紙が、現在すでに世界中で広くコンデンサや電池などに使われるようになっていく。和紙は紙の概念を超えて、さらに広がろうとしている。

紙の未来はもっともっとひろがる。

紙は私たちに常に発想への刺激を与え続けてくれる。



## ダード・ハンター (Dard Hunter 1886-1966)

紙史研究の大家。新聞印刷業に携わる父を持ち、オーストリアの印刷学校に留学。アメリカに帰国し、自分の工房を建て、自ら著した本を出版する工芸家となった。19～20世紀にかけて、欧米はもちろん、アジア、アフリカ、日本など40か国以上の紙郷を研究し、世界の定見となっている「世界の紙の伝播マップ」を著す。また1933年には日本、朝鮮、中国を現地調査し、その記録『和紙のすばらしさ』を発表する。

※写真は和紙のイメージ画像です。

# ほぼゼロはゼロじやない！ もつとゼロに近づくためにコツコツ始めたコト

限りなくゼロエミッションに近い当社。それぞれの部署でよりゼロに近づけようと創意工夫を凝らしている。そんな当社の中でも製本部の活動が活発だ。

製本部では、廃棄物を減らすため、無線綴じに使用する糊や梱包用のクラフトテープなどの消耗資材の消費を最小限に抑えるアイデアを、装置のメーカーに持ちかけ、それぞれの装置にカスタマイズを施している。製本ラインの装置上では、ほぼアイディアや工夫も出尽くしていたが、「まだまだできるのでは？」と、もう一度、廃棄されるものを見直し、従来の分別を更に細かく分別し始めた。廃棄を依頼する協力会社に細かく見積ってもらい、売れるもの、廃棄するものなど約20種に分別している。地道な努力を今度は横展開していく。

詳細は、CSRレポート2015の特集記事で紹介しています。



愚直に地道に  
やってみたら  
結果が  
追いかけて来た  
続けてみる  
もんだね



前工程・後工程への感謝の気持ち



# 小さなひとと言が想いをつなぎ、 大きな成果を生み出す

営業が受注した印刷物に対し、そのページ数・部数・製本仕様、紙や色数によって用紙店や印刷所・製本所を選定し、納品までの段取りを行うのが生産管理の主な仕事です。いわば、日経印刷の心臓部の部署です。なかでも私がメインで手配担当しているのは、FSC® 認証を必要とする印刷物。

社内の生産環境はすべての基準を満たしているものの、印刷・製本内容によってはパートナー会社に依頼をします。その際は、認定取得済の工場を選択する必要があります。

ります。また、認証紙以外のものが混ざることがないように、複数の帳票によって一元管理を行うため、その分、確認作業は日常茶飯事です。

日々、電話のやりとりが多い中で、私が第一優先に考えていることは、後工程となる生産現場からの問い合わせに少しでも早く回答すること。私からの返事が遅れば、それだけ製版、印刷、製本の工程に遅れが生じることになる。そうしたロスを作らないためにも、事前に知りうる情報は伝票に書き込むこと、電話での応対時にもわ

かりやすく正確に伝えることを常に心がけています。

営業から飛び込んできた短納期の案件に対し、私たちは現場スタッフに丁寧に事情を説明して、やりくりをお願いすることもあります。「この仕事に応えたら次につながるので、何とかお願いします」という私たちの想いに応えてくれる現場、お客様からの感謝の言葉を伝えるにきてくれる営業。私たちはそれぞれに感謝の気持ちをもって、日々の業務に取り組んでいます。



生産管理部 生産統轄課  
三原 有香

# 誰が呼んだか規格要求事項の 番人





# お客様の安心と信頼に応える 強い組織をめざして

14001、27001のISO規格、プライバシーマーク認定、FSC® COC認証をはじめとする当社が取得している数々の認証、規格の事務局として、規格要求事項を満たすとともに、業務における効率的なしくみとルールを考え、全社に展開するまでを担当しています。しかし、新たな認証を取得することによって、少なからず個々の負担が増えるため、反発が生まれることもあります。それら現場の声に耳を傾け、できるだけ負担感が小さく、シンプルなものにする

ための施策を日々探っています。細かいルールについての議論を重ね、現場とのマッチングを図るなかで、決して忘れてはいけないことは、本来の目的を常に念頭に置いて取り組むこと。認証はお客様に安心して取引をしていただくために取得したものです。環境保全、情報セキュリティ、個人情報保護など、「日経印刷に任せておけば大丈夫」と言っていたたく根拠を示すことに本質があると考えています。全体から見れば、企業の発展を側面から支える

仕事ですが、本質を忘れることなく、より一層の信頼を得るためにできることを進めていきたいと思っています。

現在の目標は、「私たちの仕事はどの角度（品質・環境・情報）から見られても大丈夫」だということを作ること。表面的な規格要求事項への対応に止まらず、軸のしっかりした体制を作るために、社内の仲間を巻き込んで、会社全体として取り組む意識を内側から広げていこうと思っています。



総務部 業務改善支援課  
課長 宮地 将之

# 進化

のためのアンテナ



# 営業とは違う角度から 課題解決の糸口を探る

私が担っている役割は、現場で発生する課題に対して、営業とは違う角度から解決のお手伝いをすることだと思っています。例えば、製品発送のご依頼に際して、これまではお客様から受け取った発送先データを加工し直す必要がありました。そこで、ひとつのデータから各部署が必要な形に一括変換するシステムを提案。その結果として、作業時間の短縮や人為的ミス防止につながることができました。このように、ITを使った社内ワー

クフロアの構築、整備を中心に、業務の効率化、作業の円滑化をめざした取り組みが続いています。また、お客様と距離が近く、日々差し迫った問題に接している営業に代わって、業務全体を俯瞰して見渡すことも大切に行っています。お客様の課題解決や利益拡大につながる新たなご提案を行うことを目的に、まずは幅広く情報を収集すること。最新技術や世の中のトレンドを把握することはもちろん、直接ビジネスに関係がないと

思われるニッチな情報にもアンテナを張るなかで、個々のお客様の事業に合った情報を発信していきたいと思っています。私たちには、お客様とともに進化していきたい、という想いがあります。日経印刷が従来の「印刷」だけにとられない企業として発展をめざす一方で、お客様の進化に必要なパートナーとして信頼を得るために、お困りのことやご要望の一つひとつに真摯に向き合っていきたいと思っています。



営業推進部 推進課  
担当課長 上野 真吾



既読 436  
午後 1:36

北川くんさあ、最近「サステナブル」って言葉をよく耳にするんだけど、これってどうゆう意味よ？

「サステナブルな社会を目指して」とか「サステナブルな未来をつくる」とか言いますよね。  
サステナブルは英語で「sustainable」になるんですけど、「～を持続【維持】する (sustain) + 可能 (able)」ってことで、持続可能って意味なんですよ。やっさんも日経の CSR について考えてるんすか？

午後 1:39

既読 428  
午後 1:41

いやいや、持続可能って、継続してるってこととちゃうんかい？  
「社会が継続できるように」っていうこととちゃうん？  
そもそも、持続と継続ってどういうことになってんのよ？

持続：保ちつづけることで、中絶せずに長く続くこと。  
継続：前の状態・活動が続くこと、また、受け継いで続けること。

持続は、保護・保全の意味合いも含んでいて「保ち続けられる」「維持できる」ってことみたいです。  
意識すると、「変わらない」「ずっと同じ」「変わらないペースで」ってことで、うまくは言えないですけど、状態を指しているように思うんですよ。  
継続は、「継ぐ」というアクションを指し示しているような感じですかね。  
当然、時間「過去」の意識なしでは生まれませんけど。

午後 1:52

それにしても、仕事までそんなこと考えてるんすか？  
僕も、もう少し詳しく調べてみますけど……、  
ひとまず、これで回答になってますかね？

午後 1:54

既読 432  
午後 1:55

いやいや、「継」でね、「未来へ」の取材をいつ受けてもいいように、  
ちょっと準備しようと思ってね (笑)  
なんか想定内の答えでつまんねえな、てへ。 ちょっとググってみよ！

なんですって～ (>^<)！ 最初からググってくださいよ～。(g-g)！  
でも、僕も気になっちゃったんで、いろいろ調べてみますよ。

午後 1:58

# 持続と継続

巻末コラム「未来へ」第一回

Sustainableって?  
持続可能って?



真っ直ぐなモノづくりで  
「出版」という文化事業を支え50年  
それは、これからも変わらぬ  
わたしたちの基本スタイル  
「印刷」による社会への貢献を  
真っ直ぐに貫いていきたい